

雫石商工会
 令和元年度経営発達支援事業評価

No.1

< 評価基準 >
 A：目標を達成することができた（100％以上）
 B：目標を概ね達成することができた（80～99％）
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～79％）
 D：目標をほとんど達成することができなかった（30％未満）

Ⅰ．経営発達支援事業の内容

（令和2年3月現在）

事業	項目	元年度	実績	評価	2年度	3年度	4年度	5年度
		目標			目標	目標	目標	目標
1．地域の経済動向調査【指針③】	(1)雫石町経済動向調査	18社	四半期每ごと(年4回)に小売業、サービス業、製造業、建設業のアンケート調査を実施し、会報や巡回等で情報提供を行った。	20社	A	18社	18社	18社
	上記情報提供	4回		4回	A	4回	4回	4回
	(2)金融機関等へのヒアリング調査	3回	岩手銀行雫石支店、北日本銀行雫石支店、日本政策金融公庫盛岡支店国民生活事業との金融懇談会を行い、巡回等で情報提供を行った。	3回	A	3回	3回	3回
	上記情報提供	3回		3回	A	3回	3回	3回
	(3)刊行物、各種統計調査による調査	2回	職員間で刊行物等を回覧し、事業計画の策定等に必要な資料等の調査を行い、会報や巡回等で情報提供を行った。	2回	A	2回	2回	2回
	上記情報提供	4回		5回	A	4回	4回	4回
2．経営状況の分析【指針①】	(1)小規模事業者経営実態調査	40件	専門家による個別相談会18件や、巡回、窓口相談を通じて、事業承継診断15件、マル経等の金融相談8件、経営革新計画策定1件、持続化補助金等12件に伴う、各事業所の経営実態調査を行った。	54件	A	40件	40件	40件
	(2)経営分析件数	30件	上記の専門家による個別相談会や、巡回、窓口相談による経営実態調査から経営分析を行った。	48件	A	30件	30件	30件
3．事業計画策定支援【指針②】	(1)事業計画策定セミナーの開催 (うち、参加事業者数)	1回 30者	専門家等を活用した事業計画策定セミナーを開催し、事業計画の必要性等について説明や策定の指導を行った。	2回	A	1回	1回	1回
	(2)事業計画策定件数 (うち、事業承継計画策定件数)	20件 2件		12者	C	30者	30者	30者
	(3)創業計画策定件数	2件	専門家による個別相談会4件、巡回、窓口相談を通じて、事業承継計画15件、マル経等の金融相談8件、経営革新計画策定1件、持続化補助金等12件に伴う、各事業所の経営実態調査を行った。	40件	A	20件	20件	20件
			創業に伴う事業計画(資金計画、販売計画等)の策定について、サポートを行った。	15件	A	2件	2件	2件
				7件	A	2件	2件	2件
4．事業計画策定後の実施支援【指針②】	(1)事業計画策定事業者数 (うち、事業承継計画策定事業者含む)	20者	3.(2)に対して行った。	40者	A	20者	20者	20者
	(2)上記フォローアップ回数	80回	事業計画策定後の巡回、窓口相談において、事業計画策定90回以上のフォローを行った。	90回以上	A	80回	80回	80回
	(3)創業計画策定事業者数	2者	3.(3)に対して行った。	2者	A	2者	2者	2者
	(4)上記フォローアップ回数	12回	事業計画策定後の巡回、窓口相談において、経営、金融、税務等で40回以上のフォローを行った。	40回以上	A	12回	12回	12回
5．需要動向調査【指針③】	地域内の消費者ニーズに関する調査		地域内の消費者ニーズの把握として、道の駅や軽トラ市での各種商品の販売状況から、今年度は軽トラ市に出店している事業者を選定し、消費者ニーズを把握する調査を、3事業者を対象に10月と11月に行った。					
	(1)特産品調査回数	1回		2回	A	1回	1回	1回
	調査件数	250件		155件	C	250件	250件	250件
	調査対象事業者数	5件		3件	C	5件	5件	5件
	(2)飲食店調査回数	1回	地域内の消費者ニーズの把握として、軽トラ市、産業まつり、各種イベントでの飲食店に対する、消費者ニーズを把握する調査を行った。	10回	A	1回	1回	1回
	調査件数	250件		260件	A	250件	250件	250件
	調査対象事業者数	5件		40件	A	5件	5件	5件
	地域外の需要動向調査							
	(3)バイヤー向け実施回数	1回	地域外の需要動向調査として、「いわて銀河プラザ」を運営している岩手県産株式会社バイヤーへのヒアリングを行った。	1回	A	1回	1回	1回
	調査件数	9件		20件	A	9件	9件	9件
	調査対象事業者数	3件		18件	A	3件	3件	3件
	(4)シェフ向け実施回数	1回		1回	A	1回	1回	1回
	調査件数	9件	都内のレストランなど町外飲食店等への食材供給に向けた取り組みとして、今年度は12月に町内の飲食店において、町内の食材を用いた試作料理の消費者モニタリングを行った。	9件	A	9件	9件	9件
	調査対象事業者数	3件		6件	A	3件	3件	3件
	(5)専門家派遣の回数	3回		2回	C	3回	3回	3回
	(6)外部データの活用による需要動向に関する提供回数	4回		2回	C	4回	4回	4回
6．新たな需要の開拓に寄与する事業【指針④】	(1)いわて食の商談会への出展支援件数	4件	2/6開催の「いわて食の商談会in仙台」に2者、4件の出展支援を行った。	4件	A	4件	4件	5件
	成約件数	2件		2件	A	2件	2件	3件
	(2)いわて銀河プラザへの出展支援件数	2件	いわて銀河プラザへの出展支援を行った。	3件	A	2件	2件	3件
	全体売上目標	15万円		62万円	A	15万円	15万円	30万円
	(3)ニッポン全国物産展への出展支援件数	2件	ニッポン全国物産展への出展情報提供を行った。	2件以上	C	2件	3件	3件
	全体売上目標	15万円		—	D	15万円	30万円	30万円
	(4)全国軽トラ市への出展支援件数	2件	12/8開催の「第6回全国軽トラ市inかけがわ」に2件の出展支援を行った。	2件	A	2件	3件	3件
	全体売上目標	10万円		10万円	A	10万円	20万円	20万円
	(5)ニッポンセレクト.COM掲載事業所数	2件	ニッポンセレクト.COMへの掲載情報提供を行った。	2件以上	C	2件	3件	3件
	全体売上目標	10万円		—	D	10万円	15万円	15万円
	(6)ホームページ開設(SHIFT)掲載事業所数	2件	SHIFTからGoopeへの移行について情報提供を行った。	2件以上	C	2件	3件	3件
	全体売上目標	10万円		—	D	10万円	15万円	15万円
	(7)SNS活用セミナー実施回数	1回	SNS活用セミナーを開催した。	1回	A	2回	2回	2回
	参加事業者数	5者		40者	A	10者	10者	10者
	(8)SNS活用による全体売上目標	10万円		—	D	10万円	20万円	20万円

雫石商工会
 令和元年度経営発達支援事業評価

No.2

≪評価基準≫
 A：目標を達成することができた（100%以上）
 B：目標を概ね達成することができた（80～99%）
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～79%）
 D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

II. 地域経済の活性化に資する取組

（令和2年3月現在）

事業	項目	元年度	実績	評価	2年度	3年度	4年度	5年度
		目標			目標	目標	目標	目標
1. 地域経済活性化事業	(1)地域経済活性化のための検討委員会の開催	2回	軽トラ市実行委員会の開催を通じ、地域経済活性化のための検討を行った。	6回	A	2回	2回	2回
	(2)地域資源を活用した商品開発事業	随時	魚加工品について商品開発の検討を行った。	随時	C	随時	随時	随時
	(3)特産品ブランド化事業	随時	魚加工品についてブランド化の検討を行った。	随時	C	随時	随時	随時
	(4)観光資源の掘り起こしと観光ルートの設定	随時	TMO事業、軽トラ市を通じ検討を行った。	随時	C	随時	随時	随時
	(5)テストマーケティング及びチャレンジショップの実施	随時	10月、11月の軽トラ市において、3件のテストマーケティングを行った。	3件	A	随時	随時	随時

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	元年度	実績	評価	2年度	3年度	4年度	5年度
		目標			目標	目標	目標	目標
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換	(1)岩手県信用保証協会及び地元金融機関との連携	2回	地元金融機関である岩手銀行雫石支店、北日本銀行雫石支店との間で、金融懇談会を開催し、雫石町利子補給制度利用状況や町内の融資状況について情報交換を行い、支援ノウハウを共有した。	2回	A	2回	2回	2回
	(2)日本政策金融公庫との連携	2回	金融懇談会及び経営改善貸付連絡協議会で、支援方策、支援の現状、支援課題及び景況や地域課題について情報交換を行い、支援ノウハウを共有した。	2回	A	2回	2回	2回
	(3)岩手県商工会連合会との連携	1回	経営力向上支援発表大会に参加し、優れた経営支援事例や特徴的な販路開拓の方法、業種別の課題等について情報交換を行った。	1回	A	1回	1回	1回
	(4)マーケティング系のコンサルタント等との連携	2回	事業計画策定支援のために専門家を活用し、継続的な企業支援を行った。	3回	A	2回	2回	2回
2. 経営指導員等の資質の向上等	(1)独立行政法人中小企業基盤整備機構が主催する研修	随時	対象職員がいないため受講しなかった。	—	—	1回	1回	1回
	(2)岩手県商工会連合会が主催する研修	随時	経営指導員や経営支援スタッフを対象に、岩手県商工会連合会が主催する各種研修に参加し、資質の向上に努めた。	随時	A	随時	随時	随時
	(3)勉強会及びOJTを通じたスキルアップ	随時	職員を対象としたOJTを通じ、経営革新、持続化補助金等の申請に係る資質向上に取り組んだ。	随時	A	随時	随時	随時
	(4)支援情報、支援ノウハウの共有化	12回	毎月、職員間でミーティングを行い、職員相互の支援内容や情報を共有し、小規模事業者の支援に役立てている。	12回	A	12回	12回	12回
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組み	(1)業務会議	12回	経営発達支援事業の内容について、現在の進捗状況の確認及び事業内容の検証を行った。	12回	A	12回	12回	12回
	(2)理事会	4回		5回	A	4回	4回	4回
	(3)経営発達支援評価委員会	3回		2回	C	3回	3回	3回

令和元年度総合評価

C